

# 日本市場開拓に力

来原料  
由化粧品  
天然化粧  
天化粧

カルス培養技術  
応用製品など スキンケア向け

エイチ・ホルス  
ティン東京支店

医薬品有効成分（A P I）化粧品原料、健康食品の専門商社であるエイチ・ホルスティン東京支店（東京都千代田区）は、スイス・ミベール社が開発、製造している新しい天然由来化粧品原料の日本での市場開拓を開始した。ミベールが独自のカルス培養技術を応用して製造している「フィットセ

ルテック」シリーズの3製品のほか、ヒマワリの新芽やアルペンローゼの葉から得られたエコサート認証取得のエキスなどを品揃えしている。いずれもスキンケア化粧品に利用できる。

「フィットセルテック」シリーズの「マールスドメスティカ（商品名）」は、長期保存してもしなびにくい、スイスで古くから知られている希少品種の西洋リンゴを用い、

その幹細胞培養物をホモジネートしリポソーム化した製剤。ヒト皮膚幹細胞の機能を守り、健やかに保つ成分が多く含まれており、アンチエイジング素材に利用できる。

「ソーラーレディス」（同）は、紫外線耐性の強いカメタンテュリエ種のフドウの果実幹細胞を培養して得られたエキスを粉末加工している。紫外線が引き起こす活性酸素や毒素などの老化原因

因子から皮膚の幹細胞を守る。

「アルプローゼ（同）」は、アルプスの薬用高山植物「アルペンローズ」の葉から調整した幹細胞を大量培養し、得られた培養液を細胞ごとリポソーム化している。経皮吸収効果の高いリポソーム状粉末で、水系の処方に

簡単に配合できる。アルペンローズの葉は細胞の中にポリフェノールや乾燥によるたん白質の変質を防ぐテロイドリンを多く含む。皮膚幹細胞に栄養を与えて、紫外線や乾燥など外部ストレスから細胞を守る素材として紹介する。

「サンフラワー シュート アクティブ（同）」はヒマワリの新芽から得られたエキスで、ヒト細胞のエネルギー源であるATPを増やし細胞の活性化が期待できる。アルペンローズ アクティブ（同）は、アルペンローズの葉から得られたエキスで、強力な抗酸化作用をもつ。ミベールが自

社栽培しているアルペンローズの葉を用いたレーサビリティの確保にも努めている。いずれもエコサート認証を取得しており、アンチエイジング素材として提供する。なお、5月25日から横浜で開催の化粧品産業技術展でもこれら製品を紹介する予定。